

気象観測用データロガー

WL-2250



データロガーWL-2250

本機は、気象観測現場において対策が必須となるノイズやサージを防ぐために気象観測機器との接続部を切り離れた画期的な気象観測用データロガーです。本機から切り離された接続部FEU(フロントエンドユニット)は、要所が電気的に絶縁されていて、気象観測機器の出力信号を速やかにデジタル信号に変換します。本機はFEUから伝送されたデータの統計処理を行い、ネットワークを介してPC等にデータ転送します。統計処理を自在にカスタマイズできることも本機の特長の一つです。

小型・軽量
省電力、多様な
信号出力に対応

既存の
気象観測機器
にも利用可能

FEUの連結で
複数地点のデータ
処理が可能



FEU (フロントエンドユニット)

接続可能な気象観測機器

温度計、湿度計、風向風速計、気圧計、雨量計
日射計、日照計、蒸発計、水位計、流量計、積雪深計
騒音計、振動計、臭気計、Webカメラ など
デジタル信号出力機器は、FEUを介さず直接データロガーに接続可能

本機の特長

- ・ノイズ混入による観測誤差が低減
- ・配線工事が容易(信号ケーブルは1本に集約)
- ・データロガーとFEU間はUTPケーブルを使用し約500mまで延長可能
- ・FEUを連結することにより1台のデータロガーで複数地点の気象観測が可能

※気象観測現場において、雷サージ被害は対策を講じていても完全に防ぐことはできません。しかし、ハードを切り離すことで、故障箇所の特定がしやすくなり、機器交換の際もコスト的なメリットがあります。

統計処理機能

処理間隔：1秒値、1分値、10分値
処理項目：瞬間値、平均値、最大・最小値、
起時積算値、標準偏差 など

伝送方式・通信方法・データ形式

データロガーからPC等へのデータ伝送方式：
FTP (PUT) または E-mail
通信方法：有線LAN、無線LAN、携帯電話網など
データ形式：バイナリ
転送時間短縮のため、バイナリ形式で転送しますが
PCでテキスト変換が可能です。

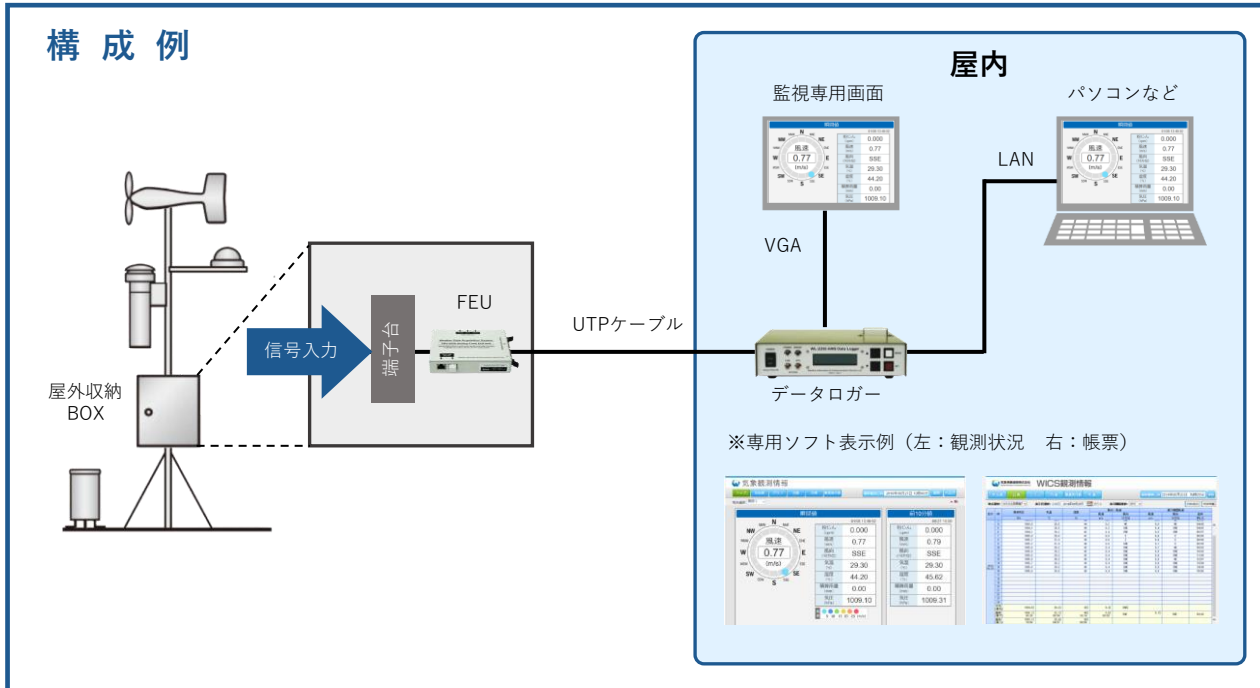
オプション機能

- ・気象観測表示ソフトウェア
リアルタイム表示、帳票表示、CSV出力、印刷機能等
- ・データ監視等デジタル出力対応
- ・既存システムとの接続

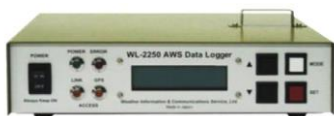


気象情報通信株式会社
Weather Information & Communications Service LTD.

構成例



データロガーWL-2250



前面



背面

FEU (フロントエンドユニット)



前面



側面

機器仕様

多機能型データロガー WL-2250	
入出力ポート	(1) RS-485ポート 1ch FEUとの接続用 (2) RS-232Cポート 1ch デジタル出力センサ接続用 (3) LANポート 1ch (4) USBポート 2ch (5) VGA信号出力ポート 1ch
サイズ・重量	220W×150D×60H,約1.3kg
電源	DC12V, 6~10W
耐サージ	3kV min
設置環境	0°C~+50°C
データ転送方式	FTP(PUT),E-Mail形式
統計処理	瞬間値,平均値,最大・最小値,起時積算値,標準偏差など
オプション	UPS,AC100V電源アダプター
FEU FEU-2250	
入出力ポート	(1) 6ch 標準仕様0~1V 指定により 0~10mV±1V,0~5 V,±5 V,4~20 mA可 (2) 4線式白金測温抵抗体入力 2ch (3) 風向用8bitロータリーエンコーダ入力 1ch (4) 風速用パルス入力 1ch (5) 接点入力 4ch (6) RS-485ポート 2ch マルチドロップ接続用,AWS データロガー接続用
サイズ・重量	150W×110D×30H,約300g
電源	データロガーからの給電
アナログ入力耐サージ	10kV 8/20μs
設置環境	-20°C~+70°C
オプション	
表示ソフトウェア	監視用ソフトウェア
パッケージソフト	パソコン用ソフトウェア データ二次処理、表示、印刷、データダウンロード

※仕様は予告なく変更される場合があります

気象情報通信株式会社

〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-8-5 MIビル4F

TEL : 03-5958-8210 / FAX : 03-5958-8230

Email : sales@wics.co.jp